

掲示板

「掲示板」は毎月1日号に掲載します。
 次回3月1日号の締め切りは2月10日④です。
 詳しくは、本庁秘書広報課広報係 ☎21-8182へ。

「北上川フォーラム」開催

- ◆日時…2月15日⑩13:10～
- ◆会場…ペリーノホテル関
- ◆内容…①特別対談『ナイル川・北上川姉妹河川提携の意義と今後の展望』アブデルナーセル駐日エジプト大使、達増拓也県知事②パネルディスカッション『震災復興に向けた地域の取り組み』コーディネーター平山健一北上川リバーカルチャーアソシエーション会長、パネリスト浅井市長、宇部貞宏一関商工会議所会頭など5人
- ◆聴講料…無料
- ◎問い合わせ先…北上川リバーカルチャーアソシエーション事務局・千田 ☎090-4883-6560

ほらふき大会を開催

- 県内外から集まったほらふき名人が、壮大な「ほら」で不景気を吹き飛ばします。大笑いしたい方、ぜひともお越しください。
- ◆日時…2月1日⑩10:00～
 - ◆会場…田河津公民館和室
 - ◎問い合わせ先…田河津公民館 ☎47-2349

第9回いわい美術展2009

- 会員のほか、一般の方の作品も展示します。入場は無料です。
- ◆会期…2月11日⑩～15日⑩10:00～17:00(最終日は15:00まで)
 - ◆会場…一関文化センター展示室
 - ◆展示作品…油絵、水彩、アクリル画、日本画、染織、版画など
 - ◆出品料…1人3000円
 - ◆出品受付期限…2月3日⑩
 - ◎問い合わせ先…いわい美術振興協会事務局・及川 ☎23-3824

川崎病講演会と相談会

- ◆日時…2月8日⑩13:00～15:00
- ◆会場…一関総合福祉センター中会議室
- ◆テーマ…『川崎病とのつきあい方を語る』～親からみて～
- ◆講師…神崎浩之さん(賛助会員)、岩井世紀子さん(連絡会代表)
- ◎問い合わせ先…川崎病の子供をもつ親の会岩手県連絡会・岩井 ☎23-1240

緩和ケアを考える『リボンの会』

- 『リボンの会』は毎月第2土曜日に集い、一関地域のがん患者・その家族、市民ボランティア、医療関係者が共に寄り添う心で話し合い、悩みを打ち明ける場です。お気軽にご参加ください。
- ◆開催日…2月14日④、3月14日④14:00～15:30
 - ◆会場…一関病院
 - ◎問い合わせ先…一関病院医療相談室・小野寺 ☎23-2050

ミュージカル「平泉」チケット販売中

- 平泉の文化遺産の世界遺産登録を願って結成された「みちのくミュージカルシアター」が演じる『ミュージカル「平泉」夕焼けの向こうに』のチケット販売が始まりました。
- ◆公演日時…3月21日④18:00開演、同22日④15:00開演(開場は開演の30分前)
 - ◆会場…一関文化センター大ホール
 - ◆入場料…前売券2500円(当日券3000円) ※全席自由、開場1時間前から入場整理番号札を配布
 - ◆プレイガイド…一関文化センター、ローソンチケット(Lコード=21572)、チケットぴあ(Pコード=392-415)など
 - ◎問い合わせ先…ミュージカル平泉上演実行委員会事務局 ☎24-2990

第3回市民スキー大会参加者募集

- ◆日時…2月22日⑩10:30競技開始
- ◆会場…ひめかゆスキー場(奥州市胆沢区)
- ◆種目…大回転(スキーおよびスノーボード)
- ◆受付期限…2月14日④12:00
- ◆申込方法…市内スポーツ店などの開催要項を確認願います。
- ◎問い合わせ先…一関市スキー協会事務局・小野寺 ☎090-7060-9704

デモンストレーター“匠”講習会

- ◆日時…2月15日⑩9:45開始
- ◆会場…越路スキー場(奥州市江刺区)
- ◆講師…三浦孝純さん(SAJデモンストレーター・一関市スキー協会)
- ◆定員・受付期限…先着15人・2月6日④
- ◆対象…18歳以上で2級程度の技術の人
- ◆参加料…5000円(リフト券含まず)
- ◎問い合わせ先…一関市スキー協会指導部・鈴木 ☎090-1067-5305

スキー・スノーボードツアー

- 参加費にはリフト代、昼食代は含まれていません。詳細はお問い合わせください。
- 【第2回・秋田県田沢湖スキー場】
 - ◆開催日…2月8日⑩
 - ◆参加費…一般3500円、協会員・中学生3000円
 - ◆受付期限・定員…2月1日⑩・40人
 - 【第3回・山形県蔵王スキー場】
 - ◆開催日…3月7日④・8日④(1泊2日)
 - ◆参加費…一般1万6000円、協会員・中学生1万5000円(宿泊費を含む)
 - ◆受付期限・定員…3月1日⑩・30人
 - ◎問い合わせ先…一関市スキー協会事業部・小野寺 ☎090-2602-1118

大乗寺のオシラサマ

文化財探訪

◎問い合わせ先
 川崎支所教育文化課
 ☎4021

川崎町



口寄せをするオカミサマが祭具として用いたオシラサマが多数奉納された大乗寺のオシラサマ
 平成20年11月、岩手県有形民俗文化財に指定

岩手県の民間信仰の一つに「オシラサマ信仰」があります。一般的には目の神、蚕の神、農業の神、馬の神などとして信仰されてきたオシラサマは、オシラボトケやオシラガミとも呼ばれ、長さ約30センチ程度の桑や竹を芯として、それにオセンチクと呼ぶ布切れをまとった形をしています。布切れを頭からかぶせているものは「包頭型」、布の中央部に切れ目を入れ、そこから頭を出しているものは「貫頭型」として区別されています。

川崎町薄衣の大乗寺には、包頭型184体、貫頭型16体、合計200体のオシラサマが奉納されています。貫頭型のオシラサマの中には、武士や烏帽子をかぶった人面型のもの、オシラサマを収納するお宮と一緒に仏像やお金経文などが納められたものも確認できます。

大乗寺にまつられているオシラサマは、口寄せをするオカミサマ(オカミサマ、イタコともいわれる)が祭具として用いたもの。オカミサマが亡くなり後継者がいなかった際に、まつることもできず粗末に扱うこともできなかったオシラサマが、自然発生的に大乗寺に納められるようになった、といわれています。

東北地方で信仰された養蚕や農業の神様という性格のものは異なり、オカミサマとの関係を考察する上で重要な資料がまとまって存在する大乗寺のオシラサマは平成20年11月、県の有形民俗文化財に指定されました。

現在でも、オシラサマの祭日である10月16日には、僧侶や現在活動しているオカミサマたちが遠方から集まり、それぞれのオシラサマに赤い布を1枚着せて(コロモガエ)大切に祭っています。当地方の民間信仰の移り変わりを垣間見ることができ、貴重な資料です。

昨年の米国リーマン・ブラザーズの経営破綻に端を発した金融危機は、全世界に影響が及び、百年に一度の大不況といわれる状況になっています。当然日本にも大きな影響があり、今年是不況から脱出するために懸命に努力する年であると考えます。

そのような中、当市でも1387人が成人を迎えました。大人として、社会人として本格的なスタートとなる成人式が整然と落ち着いた雰囲気の中で行われ、喜ばしく感じました。

日本が近代国家としての地歩を固めた明治維新や戦後の混乱期を経て、その後の繁栄の礎を築いたのは若い人たちの力です。現在の厳しい状況にあっても、苦しみながらも新しい社会構造を力強く築いていく、その中心となるのが、新成人をはじめとする若い力であるのは間違いありません。

若人たちが未来に向かって自分たちの新しい時代を情熱と希望を持って切り拓いていくことを願うとともに、その力を十分に発揮できるような社会を築かなければならない、という思いを新たにしました。



市長 浅井 宗兵衛

ぶなの雫 十九

一関市博物館案内 ☎29-3180 ホームページhttp://www.museum.city.ichinoseki.iwate.jp



龍神(かまど(かま)がみ)

柳宗悦の民芸運動に共鳴し、岩手県南地方を中心に多彩な民芸資料を収集した菅原清蔵のコレクションを一括寄贈を機に公開します。柳や棟方志功などとの交流も紹介します。

■会期：2月14日④～3月15日⑩

【展示解説会】
 学芸員が展示資料を解説します。
 ■日時：2月22日⑩・3月8日⑩
 14時～15時 ※通常入館料で観覧いただけます。



秀衡碗(三ツ組)

テーマ展 民芸の美 菅原清蔵コレクション②